

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 グループホーム信生ゆりはまの里
作成日: 令和8年2月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	(27)	職員の高齢化もあるが、従来通りの記録方法を行っている。タブレットでの入力の仕方が覚えられない、時間がかかってしまう等の職員の思いや観点から、紙での記録をしているが実際には書くことに時間がかかったり他者が読めなかったりするデメリットがある。	記録媒体を紙からデジタルへ移行を行い業務への効率化を図りたい。	施設全体で取り組み、導入を進めていく。導入に向け、不安のある職員には事前に説明や講習を行いスムーズに移行できるようにしていく。	12ヶ月
2	(40)	現在、施設職員が買い出しと調理を行っている。人員配置も薄く全ての工程を実行するには職員の負担が多い。又、近年の物価高騰もありメニュー通りに作る事も困難になってきている。	隣接する老健へ外注が出来るように進めていく。(昼食、夕食の副菜のみ)老健の管理栄養士の立てた献立で提供が出来るようにしたい。	何故、移行したいのか、問題点の可視化を行うとともに、メリットも説明し外注が行えるよう取り組んでいく。	12ヶ月
3	(4)	運営推進会議で2ヵ月間のGHの現況の報告に留まり話が発展しないことがある。いつも同じ時間に開催しており、家族以外は顔ぶれもあまり変化がない。	年に6回の開催をしており、そのうちの1回は時間を変更しお茶や、昼食を食べていただく機会を設けたい。	運営推進会議へ参加していただく方へ説明と理解をいただいてから、社内稟議にて費用の確保を行い実行していく。	3ヶ月
4	(23)	利用者本位が大事だが、安全を気にしすぎてホーム内での動きに窮屈な場面があると感じる。	個々に合わせたやりがいを見つけ、日々の生活に潤いが出るよう支援していく。	個々に出来る事、したい事を掘り下げ職員全体で周知する。利用者様の生活の場として楽しく続けられることを見つけ実施していく。	2ヶ月